

## 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会 「立候補都市」について

### 概要

5月23日（水）にケベック（カナダ）で開催された国際オリンピック委員会（IOC）理事会において、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会に関して、以下のとおり、「立候補都市」が承認された。（※日本時間で5月24日（木））。

承認：イスタンブール（トルコ）、東京、マドリード（スペイン）  
不承認：バクー（アゼルバイジャン）、ドーハ（カタール）

#### IOCワーキング・グループ報告書より

##### 東京が特に高く評価された点

- スポーツの力を通じて国を結びつけ、新しい世代の人々を刺激するという明確な展望
- 2016年招致の経験を活かし、大会計画を改善
- 選手村のロケーションをはじめ、コンパクトにまとまった全体計画
- 既に政府の力強い支援が存在
- 約4,000億円の開催準備基金を用意
- 宿泊施設の客室数がIOCの要求基準を大きく超過

アスリートにとって最高の環境が整えられていると評価

##### その他

- IOCによる都市の世論調査結果 東京の支持率：47%  
（イスタンブール：73%、マドリード：78%、バクー：90%、ドーハ：72%）
- 強力な国内でのコミュニケーションプランが必要
- 国によるエネルギー基本計画の動向について注視が必要